

## 第2章 生涯学習分野の点検・評価

### 1. 対象事業

#### (1)生涯学習分野における主要な事業

分野別目標1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実		アカデミ ー計画	実施計画 事業	重点 施策
1	文京アカデミア講座	○	○	
2	文京いきいきアカデミア講座	○	○	
3	企業等連携講座(メセナ講演会)	○	○	
4	大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)	○	○	
5	資格取得キャリアアップ講座	○		
6	大学連携による各種事業	○	○	
7	大学連携による附属図書館の区民開放	○		
8	視聴覚資料等の貸出	○		
9	「文の京」施設予約ねっとシステム	○		
10	区内大学学長懇談会の実施		○	
11	保育室の設置及び手話通訳者の配置	○		
12	文京e-ラーニング	○		
13	夜間・休日の講座開設	○		
14	生涯学習の相談	○	○	
15	地域資料の充実	○		
16	図書館サービスの充実	○		
17	小石川図書館の改築の検討		○	
分野別目標2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実				
18	文京区生涯学習サークル連絡会の支援	○		
19	生涯学習フェア	○		
20	区民プロデュース講座の企画支援	○		
21	人材育成のための講座	○	○	
22	各種講座・展示会の企画への起用	○	○	
23	学習支援者スキルアップ講座	○	○	
24	「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～		○	
分野別目標3 学びの継続を通じたまちづくり				
25	サークル活動の広報	○		
26	ふれあいサロン	○	○	
27	社会教育関係団体登録制度による活動支援	○		
28	文京お届け講座	○		
29	「文京学」講座	○		
30	区民プロデュース講座	○		

## (2)分野別事業数

主要事業及びその他区が実施する各分野別の事業数は、以下のとおり(再掲事業を含む)。

分野別目標	主要事業	その他の事業
【分野別目標1】 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	17事業	68事業
【分野別目標2】 一人ひとりが学びの成果を活かす機会の提供・充実	7事業	34事業
【分野別目標3】 学びの継続を通じたまちづくり	6事業	44事業

## 2. 主要な事業の成果に対する評価

### (1)分野別目標1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

#### 前年度の課題と今後の対応・方向

##### ①生涯学習相談窓口の周知

相談窓口の開設日時・場所等について、区民に対して適切に周知する必要がある。また、職員への周知も図り、相談希望者を適切に相談窓口案内する体制を整えられたい。

##### ②学習機会の情報集約・周知

区が実施する講座だけでなく、民間等が区内で実施する講座情報も集約し、まとめて区民に情報提供することで、学習機会への参加促進につなげることができる。特に社会人や子育て世代など、事業に参加したことがない人に対する広報として、子どもの集まる児童館等での広報物の配布や庁舎内のデジタルサイネージの活用も検討されたい。

##### ③講座ニーズの把握

平成30年度は、講座受講時に保育室の利用希望者がいなかったことから、子育て世代がどのような時間帯に、どのような講座を求めているのか、ニーズを把握した上で、講座を企画していく必要がある。

##### ④文の京施設予約ねっとシステムの改善

文の京施設予約ねっとシステムについては、システムの使い勝手に関して、以前より課題が認識されている。システム更新時には、より簡単に利用できるように改善を期待する。

#### 【取組状況の評価】

##### ①生涯学習相談窓口の周知

生涯学習に関する相談のほか、区民プロデュース講座の企画相談窓口としても位置付け、機能強化するとともに、令和元年度は(公財)文京アカデミーの情報紙「スクエア」に4回掲載し、窓口の周知が図られている。

《関連事業 14、20》

##### ②学習機会の情報集約・周知

区の実施する講座等の事業については、生涯学習施設に限らず、様々な施設での広報物の配布や、掲示板やコミュニティバス等での掲示も行い、広く区民へ周知することができている。

##### ③講座ニーズの把握

区報や各所管課が作成するチラシやパンフレットにより、区の関係する講座やイベントなどの情報のほか、区内の大学や文化施設だけでなく、隣接区が会場となる講座や催事に関するチラシやパンフレットも積極的に収集し、相談窓口で活用されている。

##### ④文の京施設予約ねっとシステムの改善

令和2年4月より、新たに地域活動センター等21施設に施設予約ねっとシステムを導入するための準備を行い、施設利用の利便性向上につなげられている。

《関連事業 9》

## 【課題と今後の対応・方向】

### (1)多様な講座や学習機会の提供・充実

新型コロナウイルス感染拡大の影響により導入したオンライン講座と、従来の対面型講座の特長を活かして、多様な学習機会の提供に努める必要がある。

### (2)学習・活動ができる環境の提供

区内大学と連携した講座の実施にあたって、19大学の特色や専門性を活かしたテーマや内容とするため、大学と情報を共有しながら調整を行うことが必要である。

### (3)あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実

人々のライフスタイルの変化に対応するとともに、今まで生涯学習活動への参加が少なかった世代に対し、ニーズを把握し、各種講座・講演会や生涯学習の情報の提供を行う必要がある。

### (4)地域の学習拠点としての図書館づくり

文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会の報告を受け、小石川図書館と竹早公園の一体的整備について検討が開始される。また、機能向上の方策の一つとして、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、必要性が高まった電子書籍を導入するとともに、「文の京デジタル文庫」のさらなる充実が必要である。

## 【参考事業】

### ■事業1 文京アカデミア講座

事業概要		
区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供する。		
事業実施内容	事業実績	
文京アカデミア講座 83講座 外国人おもてなし英会話講座 5講座 魚のおろし方教室 2講座 パソコン講座 4講座8コース 夏休み子どもアカデミア講座 12講座	当初予定数	3,219人
	実績数(※)	3,288人(3,379人)(3,096人)
	申込数	4,886人
成果	課題	
年間を通して、バラエティに富んだ講座を提供することができ、アンケートにおいて受講生から高い講座満足度を得られた。 講座修了生と区内サークル活動との連携により、生涯学習の継続のきっかけづくりを行った。 アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営が実施できている。	一部にアンケートの満足度は高いにもかかわらず、定員に満たない講座があった。	
	<b>課題解決に向けた取組</b> 講座内容やPR方法を工夫するなど、引き続き効果的な広報を行っていく。	

実績数(※)欄には、左から、令和元年度3,288人、(平成30年度3,379人)、(平成29年度3,096人)を記載  
以下同じ

## ■事業9 「文の京」施設予約ねっとシステム

事業概要		
利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により、施設利用者へのさらなる利便性向上を図る。		
事業実施内容	事業実績	
施設予約ねっと登録者数(R2.3.31時点) 7,274団体(個人利用を含む) 導入施設数:24施設(令和2年4月より45施設)	当初予定数	—
	実績数	24施設(24施設)(24施設)
	申込数	—
成果	課題	
令和2年4月より、新たに地域活動センター等21施設に施設予約ねっとシステムを導入するための準備ができた。	新規利用希望者などから、施設の使用料の支払いの際、ゆうちょ銀行での口座振替やクレジットカードでの取り扱いを求める意見があった。	
	<b>課題解決に向けた取組</b> 令和2年度秋からゆうちょ銀行での口座振替を開始する。また、クレジットカード等窓口のキャッシュレス化については、令和3年度中のシステムの更新と併せて検討していく。	

## (2)分野別目標2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実

### 前年度の課題と今後の対応・方向

#### ①区民プロデュース講座の周知

社会人など、日中に時間を取れない人も含めたより多くの人に企画を提案してもらうためには、申込み要件の見直しも視野に入れる必要がある。また、自ら講座を企画し、実施することと、区民プロデュース講座として講座を実施することの違い(メリット)を、区民に対して明確に伝えていくことも必要である。

#### ②文京バックアップズの活用

経費に対して実績が伸びていない。Webサイトのメインターゲットである大学生に向けて情報を届けるため、大学生の情報感度に合わせた情報の発信、コンテンツの制作が必要である。

### 【取組状況の評価】

#### ①区民プロデュース講座の周知

区民プロデュース講座の募集時期に合わせ、(公財)文京アカデミーの情報紙「スクエア」に企画が採用された方のインタビュー記事を掲載し、企画応募を促している。また、受講者向けパンフレットでは、区民プロデュース講座のページを設け、講座の趣旨を含めて積極的に周知されている。

《関連事業 20》

#### ②文京バックアップズの活用

区内在学の大学生に、区のボランティア事業に参加した体験を活かして、Webサイトに掲載するコンテンツ作成やSNSでの事業PRを行ってもらうことで、文京区の魅力を学生の視点で発信することができている。

《関連事業 24》

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1)主体的な活動を支える仕組みづくり

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、生涯学習サークル連絡会公開講座などの各種自主学習活動を支援していくことが必要である。

#### (2)活動成果披露の場の充実

新型コロナウイルス感染拡大による学習活動の制約が予想される中で、安心・安全に日頃の学習成果を発表できる場を提供する必要がある。また、区民プロデュース講座では、提案者のスキルや知識が、受講者にしっかり伝わるように支援する必要がある。

#### (3)人材育成・活用の推進

平成18年度に生涯学習司、地域文化インタープリター、アカデミアサポーターの人材育成講座が始まって以来、有資格者は580人(延べ人数)にのぼる。引き続き、生涯学習をサポートする新たな人材の育成とともに、スキルアップ及び相互の連携協力を促すよう支援する必要がある。

【参考事業】

■事業20 区民プロデュース講座の企画支援

事業概要		
区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取り組みを実施する。		
事業実施内容	事業実績	
企画書の書き方をわかりやすく解説した記入例を配布 生涯学習相談窓口で生涯学習司による企画相談を実施	当初予定数	—
	実績数	40件(54件)(50件)
	申込数	—
成果	課題	
様式の統一化と生涯学習相談窓口での企画相談受付等、区民プロデュース講座の企画支援は充実してきている。 区民プロデュース講座の募集時期が新型コロナウイルス感染症の拡大時期(3月)に重なったため、相談件数が伸びなかった。	企画内容が生涯学習講座にそぐわなかったり、一定のジャンルに偏る企画になることもある。	
	課題解決に向けた取組	
	生涯学習司等と協力し、多様なジャンルの人材発掘を図るとともに、提案された講座内容をブラッシュアップする。	

■事業24 「文京バックアップパース」～大学生ボランティアのススメ～

事業概要		
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、区内在住・在学の大学生等のボランティア活動への気運醸成を図るため、WEBサイトを開設・運営する。		
事業実施内容	事業実績	
バックアップ情報新規2件 バックアップパース紹介4件 バックアップラボコンテンツ5件	当初予定数	—
	実績数	11件(50件)(—)
	申込数	—
成果	課題	
区内大学生等に向けて、区事業のボランティア情報を発信できた。 また、学生に区事業等に参加した感想等をSNSで発信してもらうことにより、区内大学生等に区の魅力を発信できた。	事業終了	
	課題解決に向けた取組	
	事業終了	

### (3)分野別目標3 学びの継続を通じたまちづくり

#### 前年度の課題と今後の対応・方向

##### ①文京お届け講座の広報

文京お届け講座について、ホームページや区報等で、区民に対して広く情報発信するだけでなく、生涯学習団体などの団体に、直接広報を行うことも効果的だと考えられる。

##### ②NPOや市民団体等の活用

NPOや市民団体等が主体となり、地域アカデミーを活用して区民向けの講座を実施した場合、補助金を出すような仕組みを作るなど、区や指定管理者以外の外部資源の活用を検討が必要である。

##### ③庁内の生涯学習情報の集約・発信

他部署での生涯学習的な取り組みは、直接行政課題につながるものも多く、まちづくりにもかかわる内容である。個々に情報発信するのではなく、生涯学習に関する取り組みとして情報を集約し、まとめて提供することが必要である。

#### 【取組状況の評価】

##### ①文京お届け講座の広報

区ホームページや区報等で、区民に周知することにより、令和元年度の講座参加者は、前年度より40人増加し、多くの人が参加している。

《関連事業 28》

##### ②NPOや市民団体等の活用

区や指定管理者以外に主体的な活動を行う団体として、社会教育関係団体をはじめ、区内を拠点とする団体に対する支援の拡充が必要である。

《関連事業 27》

##### ③庁内の生涯学習情報の集約・発信

庁内の情報集約には至らなかったが、個々の事業については、区報やチラシなどの紙ベースの媒体に加え、ホームページやSNSを活用した情報発信が行われている。

《関連事業 25》

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### (1)学びを通じた交流・仲間づくりの推進

社会教育関係団体の活動やふれあいサロンにおいて、区民が交流し、学び合う機会は創出されているが、その学びを地域に還元する仕組みが必要である。

##### (2)地域で支える学習環境の充実

社会教育関係団体について、団体の実態と活動状況を把握し、自主的な活動を希望する区民に対して、具体的な情報提供に努められたい。

##### (3)学び合いとまちづくりにつながる学習の推進

文京お届け講座について、78講座のラインアップに対して、実施講座数は23件と少なく、多くの区民に活用してもらう必要がある。また、新型コロナウイルス感染防止対策のため、オンラインでの実施も推進されたい。

【参考事業】

■事業27 社会教育関係団体登録制度による活動支援

事業概要		
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行うことで、その活動を支援する。		
事業実施内容	事業実績	
登録団体数 1,159団体 (内訳) 生涯学習 642団体 スポーツ 517団体	当初予定数	—
	実績数	1,159団体(1,128団体)(1,103団体)
	申込数	—
成果	課題	
登録団体名簿の関連施設への配架、ホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながった。	活動休止や代表者等変更など、区が把握する団体情報と実態が一致しない場合がある。	
	課題解決に向けた取組	
	団体の活動状況を毎年度報告していただくことで、団体の実態と活動状況を把握し、自主的な活動を希望する区民に対し具体的な情報提供に努める。	

■事業28 文京お届け講座

事業概要		
区民の自主的な学習活動を支援するとともに、地域の団体の要望に応じて、区の職員が講師として職務に関する話をするすることで、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図る。		
事業実施内容	事業実績	
計23件 参加者計1,232人 【実施した主な講座名】 「がん検診について」、「健康に関すること」、「感染症の予防について」、「文京ふるさと歴史館について」、「えほんがすき！読み聞かせの手引き」など	当初予定数	—
	実績数	1,232人(1,192人)(1,685人)
	申込数	—
成果	課題	
区民の自主的な学習活動を支援し、区の施策等への理解を促進することができた。	全78講座に対して、実施講座数は23件であり、より幅広く区民に利用してもらうための周知や実施方法の検討等が必要である。	
	課題解決に向けた取組	
	区報・ホームページや各種団体への積極的な周知と併せ、オンラインを活用した講座の開催などの周知を行っていく。	

### 3. 分野別目標に対する事業を通じた達成状況

---

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)  
生涯学習・文化芸術分科会座長 田中 雅文

①分野別目標1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

②分野別目標2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実

③分野別目標3 学びの継続を通じたまちづくり

④分野の総評